

2013年4月5日開催 第577回番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長、櫻井美幸副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、佐藤友美子委員、若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役
立野コンプライアンス室長 柚山ラジオ局長 藤沢編成局長 南川視聴者センター長

◆ 報告事項

- ①ラジオ・テレビの4月改編の概要と特徴について、ラジオ局長と編成局長がそれぞれ報告した。
- ②「放送番組の種別の公表」制度に則って、平成24年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を編成担当取締役が報告した。合わせて、同期間のCM総量および4月以降の基本番組表についても報告した。

◆ 審議事項

視聴者センターの業務について、視聴者センター長が説明した。

各委員の主な意見は次の通り。

・4月改編について

- * ネーミングで「テレビ未来遺産」というと、繰り返して見られるものでないと未来の遺産にならない。DVD化や、ウェブ上でアクセスが可能になるように考えるといい。
- * 本来テレビを見ているのはお年寄りが多いが、若い人に向けて作っているようなところがある。「家族みんなで」と言ったときに、どんなふうに取りこもうとしているのか。
- * ラジオ「ネットワーク1・17」は、持続することを高く評価するが、同時にマンネリ化の危険もある。番組の中で東日本と結ぶこともしっかり考えて欲しい。

・視聴者センター業務について

- * せっかくこれだけの情報を集めたのなら、しっかり受け止めて、番組に活して欲しい。
- * 同じような苦情が繰り返しあるが、気をつけたほうがいい情報があると思うので、現場へのフィードバックを意識して欲しい。

以上